



日本電子機械工業会規格  
Standard of Electronic Industries Association of Japan

**EIAJ RC-5130**

**電子機器用トグルスイッチ品種別通則**  
**Toggle Switches for use in Electronic Equipment**

1997年3月制定

作成

接続部品標準化委員会  
Technical Standardization Committee on Connecting Components

発行

社団法人 日本電子機械工業会  
Electronic Industries Association of Japan

## 目 次

1. 適用範囲 .....	1
2. 用語の定義 .....	1
3. 形名 .....	2
3.1 形名の構成 .....	2
3.2 記号 .....	2
4. 定格 .....	6
4.1 定格開閉電圧 .....	6
4.2 定格開閉電流 .....	6
4.3 定格開閉電圧と定格開閉電流の組合せ .....	6
5. 外観, 構造, 寸法及び表示 .....	7
5.1 外観 .....	7
5.2 構造 .....	7
5.3 形状及び寸法 .....	7
5.4 表示 .....	7
6. 材料 .....	8
6.1 絶縁材料 .....	8
6.2 金属材料 .....	8
7. 性能及び試験方法 .....	9
8. 試験 .....	29
8.1 試験の状態 .....	29
8.2 試験項目 .....	29
8.3 試験方法 .....	29
9. 表示 .....	30
9.1 スイッチ本体の表示 .....	30
9.2 包装の表示 .....	30
10. 包装 .....	30
11. 製品の呼び方 .....	30
12. 付属部品 .....	30
12.1 端子座金 .....	30
12.2 取付ナット .....	30

解説

## 日本電子機械工業会規格

## 電子機器用トグルスイッチ品種別通則

## Toggle Switches for use in Electronic Equipment

1. 適用範囲 この規格は、主として電子機器などで250V以下の電路に用いる定格開閉電流25A以下のトグルスイッチ(以下、スイッチという。)について規定する。
  - 備考1. ここでいうトグルスイッチとは、指先等による直線的な往復動作が可能なバット状のレバーをもって操作するスイッチをいう。
  2. この規格の引用規格を、次に示す。
    - JIS B 1255(1977) 歯付き座金
    - JIS C 5441(1994) 電子機器用スイッチの試験方法
    - JIS H 8610(1991) 電気亜鉛めっき
    - JIS K 6911(1995) 熱硬化性プラスチック一般試験方法
  3. この規格の対応国際規格を示す。
    - IEC 131-1(1984) Lever switches
      - Part 1 : General requirements and rules for the preparation of detail specifications
    - IEC 131-2(1963) Lever switches
      - Part 2 : Requirements for switches of Type 1, slow-make, slow-break
    - IEC 131-3(1969) Lever switches
      - Part 3 : Requirements for switches of Type 2, quick-make, quick-break (toggle switches)
    - IEC 131-4(1987) Lever switches
      - Part 4 : Requirements for miniature toggle switches
2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS C 5441の規定によるほか、次による。
  - (1) レバー スイッチを操作するためのつまみ(付図1参照)。
  - (2) ブッシング レバーを保持し、レバー作動角度の基準となるもので、ナット止め取付方式のスイッチでは、その外側にねじを付け、ナットとともに機器に取り付けるときの金具(付図1参照)。
  - (3) キー溝 ナット止め取付方式のスイッチでレバーを倒す方向のブッシング片側側面に付けた溝。レバーの位置によるオン・オフの状態及び端子番号の基準となるもの(付図1参照)。
  - (4) レバーをA側に倒した場合 スイッチのレバーをキー溝と反対の側に倒した場合(付図1参照)。
 

なお、小ねじ取付方式のスイッチでは、レバーを表示(製造業者名又はその略号)と反対側に倒した場合(付図24参照)。
  - (5) レバーをB側に倒した場合 スイッチのレバーをキー溝の側に倒した場合(付図1参照)。
 

なお、小ねじ取付方式のスイッチでは、レバーを表示(製造業者名又はその略号)の側に倒した場合(付図24参照)。
  - (6) レバーを中立にした場合 スイッチのレバーを中立にした場合(付図3参照)。
  - (7) 端子番号 オン・オフの状態を示す端子の位置の番号。端子が欠であっても端子番号は変わらない(付図1参照)。
  - (8) 多重定格 一つのスイッチがもつ二つ以上の定格。